

要因分類	農作業事故（ヒヤリハット）	性別	年齢	その後の工夫
脚立など	りんごの収穫をしているとき、りんごをカゴ一杯にしようと無理をして取ろうとして、はしごから転げ落ちそうになった。	女性	50	はしごに上がらない。
	りんごの収穫中、無理して脚立から落下した。	男性	60	注意深くなった（米作、りんごを止めた）。
	りんごの摘果中三脚が倒れ腰につけたハサミが抜けなくて困った。	女性	60	三脚をしっかりと見てやる事にした。
	りんごを取る時、はしごから落ちそうになった。	女性	62	はしごをしっかりと固定する。
	はしごを移動する時、針金にひっかかって転げた。	女性	63	短いはしごでやって届かない所は高所作業台を使う。
	りんご三脚でのグラつき。	男性	63	よく固定してから登る。
	遠い田に行く途中、バイクでたおれる。	女性	31	気をつけてバイクに乗っていた。
	パイプハウスにのって天井ポリをかけていたときに、パイプハウスから落ちた。	女性	60	安定した姿勢でやる様になっている。

75歳以上で起こった農作業事故例

要因分類	農作業事故（ヒヤリハット）	性別	年齢	その後の工夫	
機械等	トラクター	代かき後、田から上がる時、トラクターがかたむいた。	男性	67	ドライブハローの上げ下げに充分注意している。
		トラクターの作業機の取替で怪我する。	男性	70	取扱い説明書をよく読み二度と失敗しないように注意する。
		田から田に移ろうとした時に、トラクターの頭がもち上がってしまった。	男性	70	移動する位置を十分注意して選ぶようにしている。
		S. S 運転中、支柱に接触。剪定中、はしごから転げ落ちそうになった。	男性	70	前方確認はしごをしっかりと固定する。
		管理機に石がつかずいた。	女性	80	その場にある石で、とめたりして注意している。
		夫が草刈り機の歯をつけそこなつてはずれた時。	女性	67	近くへ行かない。夫に失敗させない。
		草刈り機で、固い物、水等に刃があたり、足を切りそうになった。	男性	68	草刈機を、代えたら安全になった。
	鎌	草刈りをしていて鎌で指を切った。	女性	70	厚い手袋をする。
	その他	ミスト機を背負い川に転げ落ちる。肥料を20kg入れバランスを崩す。	男性	70	ミスト機に肥料を20kgは入れない。
バックする時に機械におされて転びそうになった。		男性	75	機械を変えた。	
脚立など	脚立で作業中バランスを崩し転倒した。	男性	70	足場の確認と三脚のバランスを確かめて登る。	
転倒	つまづきやすくなった。	女性	67	高い靴などはかないようにしている。	
	はぜにぶつかり、めがねをこわしてしまった。つばのある帽子で見えにくかった。	女性	75	はぜにナイロンのヒモをつるしておくことにした。	
	川で寒冷紗 <small>かんれいし。</small> を洗っていて、一緒に流れた。	女性	75	寒冷紗 <small>かんれいし。</small> は洗わなくなった。	
	バイクで車をよけようとしてバックミラーが垣根に引っ掛かり転倒し骨折した。	女性	83	その後、気を付けながら運転している。	

## 【考察】

今回の調査結果から、JA あづみの高齢者は、農作業を「生きがいや楽しみ」、「健康のため」に実施していること、その一方では運動器機能低下、口腔機能低下、認知機能低下（物忘れ）が多くみられることが確認された。農作業で「重いものが運べない」、「耕すのが不便」、「種まきがしにくい」等の不都合は、腰や膝などの「体の痛み」や「体力低下」が影響していると考えられる。高齢者自身は、農作業を継続するために「道具の使用」や「休憩する」などで対応していることがわかったが、引き続き地域の取り組みとして生活機能低下に対する予防策を実施すべきである。今年度は、冬場の筋力低下予防のための「筋力トレーニング」（添付資料8）と、口腔機能低下予防のための「口の準備体操」（添付資料9）の支援策を検討実施した。

また、農作業に関連したヒヤリ・ハット事例（農業機械や脚立でのトラブル、転倒など）が報告され、生活機能低下に対する予防策とあわせて農作業事故に対する対策が必要である。ヒヤリ・ハット事例を経験した方のその後の工夫を聞いて見ると、個人的に注意するという記載が多かったが、農作業事故を少なくするためには、地域ぐるみでヒヤリ・ハットや事故事例を共有し具体的な対策を講じていくべきである。地域住民、農協、研究機関、医療機関などが協力して農作業安全のための仕組みを立ち上げ、高齢者が安全に農作業を実施できるように支援していくことが望まれる。

## 【結語】

JA あづみでは、「いきいき健康調査」や「生活に関する調査」を2009年から継続して実施している。この健康調査による自己チェックは、JA あづみのあんしん広場や生き活き塾などで定着してきており、毎年結果をもとにJA あづみの地域住民に対応した健康課題を見つけて支援策を検討し、冬場の筋力低下予防に重点を置いて実施してきた。今後も健康状態や生活機能を知るための自己チェックを普及するだけでなく、農作業をいきがいとすに地域住民に対して結果を報告し、農作業に関連した健康管理に役立つ支援策を検討していくことが重要である。

## ② JA 佐久浅間

**目的** JA 佐久浅間内山年金友の会では、活動の一環として「いきいきおでかけ健康教室」を開催している。この教室ではいきいき健康調査票（健康状態や生活機能）・生活についての質問票を記入することで、高齢者の健康状態・生活機能のチェックを行い、結果に応じた支援策の検討を行ってきた。今年度も同様にセルフチェック方式による健康調査と生活調査を行ない、その普及を図るとともに課題を見出し、地域の実情に沿った支援策を検討する。

**対象・方法** 2012年1月24日～26日の3日間、JA 佐久浅間内山年金友の会会員で希望者（93名）を対象に、5つの公民館とJA 佐久浅間内山出張所にて調査を実施した。「100歳まで農作業で違者が一番」の紙芝居で動機付けを行い、JA 佐久浅間内山出張所長によるストレッチ体操で体をほぐした後に、セルフチェック方式による「いきいき健康調査票」および「生活についての質問票」による調査を行った。調査後、健康管理センタースタッフが、「血圧について」の講話を行った。なお、調査は交通の便が悪いため集まりやすい集落単位で実施し、募集は、JA 担当者が区の年金友の会役員に会員へのプリント配布と、参加の呼び掛けを依頼した（集計対象は65歳以上とした）。

**結果** 集計対象者は88名であった。内訳は男性27名、女性61名、平均年齢は男性74.5歳、女性75.9歳であった。今年度は新しく参加した地区もあり、昨年度より10名多かった。

いきいき健康調査票の生活機能の結果は、男性では該当者が少なかったが、女性で口腔機能低下32.8%、運動器機能低下31.1%の順に多く、体の痛みの有無についても、男女ともに半数以上の方が自覚していた。特に痛みの部位は、下半身の痛みを感じている方が多く、「段差につまづくことがある」、「転倒に対する不安が大きい」の項目に当てはまる方が多かった。

今回の農作業の調査からは、農作業の実施状況は男性96.3%、女性88.5%と多く、農作業を実施している理由については、男女ともに「健康のため」、「生きがいや楽しみ」との回答が多かった。逆にやめたくなるときには、「体の調子が悪くなった時」、「体力の衰えで思うように農作業がはかどらない時」との回答が多かった。農作業を実施する上で不都合なこととして男性は「力が入らなくなった」など体力に関すること、女性は膝や足などの痛みからくる動作に関する事について訴えていた。年齢に応じて農作業を続ける工夫については男女ともに「農作業の時間を減らしている」が最も多く、次いで男性は「農業機械等を活用することを増やす」、女性は「健康診断を受ける」であった。農作業を続けるために望まれる支援は男女ともに「農作業に関連した健康管理」であった。

**考察** 今回の調査の結果から、集計対象者は高齢になっても農作業を続けており、健康や生きがい楽しみのために行っていることがわかった。農作業を続ける工夫として、

農作業の時間を減らすことなどを行っていた。農作業を継続する上で不都合な点として、体力や運動機能の低下や下半身の痛みの存在が挙げられ、これらの課題についての対策を行っていく必要があると考えられた。なお、今回の生活機能の状況より、口腔機能低下予防策として栄養についての健康講話を、また、運動器機能低下予防策として調査時に実施し好評だったストレッチ体操を実施することとした。

今後、農村高齢者がいきいきと農作業を行なうことへの支援として、運動器機能低下を予防する対策など農作業に関連した健康管理を行うと同時に、地域としての取り組みの工夫が必要だと考えられた。調査を行った地域では、老人会がなくなった地区もあり、高齢者が集まる機会が少なくなっているようである。さらに冬期間は農作業を行っていないことが多いため、外出の機会も少なくなると考えられる。今回のような調査を行い地域として結果に応じた対策を継続的に講じていくことが、冬期間の閉じこもりを防止するきっかけにもなると考える。今後JAと連携して、未実施地区への普及を行いながら、セルフチェック方式による「いきいき健康調査票」を継続していく必要があると考えられた。

**結論** JA 佐久浅間年金友の会を対象に、生活機能、生活の実態等についての調査を行った。そこから、農村高齢者が健康や生きがい楽しみのために農作業を行なっていること、また、体力や運動器機能の低下、口腔機能の低下といった課題を抱えていることがわかった。今後も調査を実施していくことで、農村高齢者の問題やニーズを把握し、それらに対する支援策を行っていききたい。

## 【目的】

JA 佐久浅間内山年金友の会では、活動の一環として「いきいきおでかけ健康教室」を開催している。この教室ではいきいき健康調査票（健康状態や生活機能）・生活についての質問票を記入することで、高齢者の健康状態・生活機能のチェックを行い、結果に応じた支援策の検討を行ってきた。今年度も同様にセルフチェック方式による健康調査と生活調査を行ない、その普及を図るとともに、課題を見出し地域の実情に沿った支援策を検討する。

## 【期間】

2012年1月24～26日の3日間

## 【対象】

JA 佐久浅間内山年金友の会会員で希望者（93名）

募集は、JA 担当者が区の年金友の会役員に会員へのプリント配布と、参加の呼び掛けを依頼した。

## 【方法】

JA 佐久浅間内山出張所管内の5つの公民館とJA 佐久浅間内山出張所にて「100歳まで農作業で達者が一番」（添付資料7）の紙芝居で動機付けをし、ストレッチ体操で体をほぐした後に、セルフチェック方式による「いきいき健康調査票」（添付資料1）および「生活についての質問票」（添付資料2）による調査を行った。調査後、健康管理センタースタッフが、「血圧について」の講話を行った（約10分）。なお、調査は交通の便が悪いため集まりやすい集落単位で実施した。生活機能低下の判定は、「介護予防のための生活機能評価に関するマニュアル 改訂版」に基づいて行った。（添付資料11）

## 実施日、実施場所、参加人数、講師数

実施日	実施場所	参加人数	講師数
1月24日（火）	苦水公民館	41名（男性11名、女性30名）	2名
1月24日（火）	相立公民館	12名（男性1名、女性11名）	2名
1月25日（水）	大月公民館	6名（男性4名、女性2名）	2名
1月25日（水）	中村公民館	11名（男性6名、女性5名）	2名
1月26日（木）	松井公民館	8名（男性5名、女性3名）	2名
1月26日（木）	JA 佐久浅間内山出張所	15名（男性1名、女性14名）	2名

いきいき調査実施者の総数

	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	28	100.0	65	100.0	93	100.0
59歳以下	0	0.0	1	1.5	1	1.1
60 - 64歳	1	3.6	3	4.6	4	4.3
65 - 69歳	7	25.0	7	10.8	14	15.1
70 - 74歳	7	25.0	16	24.6	23	24.7
75 - 79歳	8	28.6	15	23.1	23	24.7
80 - 84歳	2	7.1	16	24.6	18	19.4
85 - 89歳	2	7.1	6	9.2	8	8.6
90歳以上	1	3.6	1	1.5	2	2.2

【結果】

「いきいき健康調査票」から

\*調査当日年齢65歳以上を集計した。

(1) 調査実施者の状況

	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	27	100.0	61	100.0	88	100.0
65 - 69歳	7	25.9	7	11.5	14	15.9
70 - 74歳	7	25.9	16	26.2	23	26.1
75 - 79歳	8	29.6	15	24.6	23	26.1
80 - 84歳	2	7.4	16	26.2	18	20.5
85 - 89歳	2	7.4	6	9.8	8	9.1
90歳以上	1	3.7	1	1.6	2	2.3

男性平均年齢74.5歳、女性平均年齢75.9歳であった。

年齢別に人数を見ると、男性は75 - 79歳が29.6%と多く、女性は70 - 74歳と80 - 84歳で26.2%と多かった。

## (2) 家族構成

	一人暮らし		夫婦など		親子・孫など		その他	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	13	14.8	37	42.0	37	42.0	1	1.1
65 - 69 歳	3	3.4	7	8.0	4	4.5	0	0.0
70 - 74 歳	4	4.5	15	17.0	4	4.5	0	0.0
75 - 79 歳	2	2.3	10	11.4	11	12.5	0	0.0
80 - 84 歳	3	3.4	5	5.7	9	10.2	1	1.1
85 - 89 歳	1	1.1	0	0.0	7	8.0	0	0.0
90 歳以上	0	0.0	0	0.0	2	2.3	0	0.0

一人暮らしは、13名（14.8%）であった。

## 男女別家族構成

		一人暮らし		夫婦など		親子・孫など		その他		計	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
男性	全体数	4	100.0	12	100.0	11	100.0	0	0.0	27	100.0
	65 - 69 歳	0	0.0	3	25.0	4	36.4	0	0.0	7	25.9
	70 - 74 歳	2	50.0	4	33.3	1	9.1	0	0.0	7	25.9
	75 - 79 歳	1	25.0	4	33.3	3	27.3	0	0.0	8	29.6
	80 - 84 歳	0	0.0	1	8.3	1	9.1	0	0.0	2	7.4
	85 - 89 歳	1	25.0	0	0.0	1	9.1	0	0.0	2	7.4
	90 歳以上	0	0.0	0	0.0	1	9.1	0	0.0	1	3.7
女性	全体数	9	100.0	25	100.0	26	100.0	1	100.0	61	100.0
	65 - 69 歳	3	33.3	4	16.0	0	0.0	0	0.0	7	11.5
	70 - 74 歳	2	22.2	11	44.0	3	11.5	0	0.0	16	26.2
	75 - 79 歳	1	11.1	6	24.0	8	30.8	0	0.0	15	24.6
	80 - 84 歳	3	33.3	4	16.0	8	30.8	1	100.0	16	26.2
	85 - 89 歳	0	0.0	0	0.0	6	23.1	0	0.0	6	9.8
	90 歳以上	0	0.0	0	0.0	1	3.8	0	0.0	1	1.6

一人暮らしは、男性 85 - 89 歳代 1 名、女性 80 - 84 歳代で 3 名が最も高い年齢層であった。



(3) 治療中の病気

①治療中の病気の名前（複数回答可）

	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	27	100.0	61	100.0	88	100.0
高血圧	14	51.9	31	50.8	45	51.1
脳卒中	1	3.7	2	3.3	3	3.4
狭心症	0	0.0	2	3.3	2	2.3
心筋梗塞	0	0.0	2	3.3	2	2.3
糖尿病	2	7.4	3	4.9	5	5.7
高脂血症	2	7.4	6	9.8	8	9.1
骨粗しょう症	1	3.7	9	14.8	10	11.4
うつ	1	3.7	0	0.0	1	1.1

高血圧の治療が男女ともに多く、男性 51.9%、女性 50.8%であった。女性は、骨粗しょう症で治療している方は、14.8%と多かった。

前期後期別

		65 - 74 歳		75 歳以上		計	
		実数	%	実数	%	実数	%
男性	全体数	12	100.0	15	100.0	27	100.0
	高血圧	7	58.3	7	46.7	14	51.9
	脳卒中	0	0.0	1	6.7	1	3.7
	狭心症	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	心筋梗塞	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	糖尿病	2	16.7	0	0.0	2	7.4
	高脂血症	2	16.7	0	0.0	2	7.4
	骨粗しょう症	0	0.0	1	6.7	1	3.7
	うつ	1	8.3	0	0.0	1	3.7
女性	全体数	27	100.0	34	100.0	61	100.0
	高血圧	8	29.6	23	67.6	31	50.8
	脳卒中	2	7.4	0	0.0	2	3.3
	狭心症	2	7.4	0	0.0	2	3.3
	心筋梗塞	2	7.4	0	0.0	2	3.3
	糖尿病	1	3.7	2	5.9	3	4.9
	高脂血症	1	3.7	5	14.7	6	9.8
	骨粗しょう症	2	7.4	7	20.6	9	14.8
	うつ	0	0.0	0	0.0	0	0.0

女性では 75 歳以上のほうが高血圧・高脂血症・骨粗しょう症の割合が多かった。

(4) 主観的健康感

	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	27	100.0	61	100.0	88	100.0
とてもよい	5	18.5	7	11.5	12	13.6
まあまあ	14	51.9	25	41.0	39	44.3
ふつう	7	25.9	21	34.4	28	31.8
あまりよくない	1	3.7	6	9.8	7	8.0
とてもよくない	0	0.0	2	3.3	2	2.3

「とてもよい」、「まあまあ」と答えた方は、全体の57.9%と半数以上を占めていた。「あまりよくない」、「とてもよくない」と答えた方は、10.3%（男性1名、女性8名）であった。

前期後期別

		65 - 74 歳		75 歳以上		計	
		実数	%	実数	%	実数	%
男性	全体数	12	100.0	15	100.0	27	100.0
	とてもよい	2	16.7	3	20.0	5	18.5
	まあまあ	9	75.0	5	33.3	14	51.9
	ふつう	3	25.0	4	26.7	7	25.9
	あまりよくない	0	0.0	1	6.7	1	3.7
	とてもよくない	0	0.0	0	0.0	0	0.0
女性	全体数	27	100.0	34	100.0	61	100.0
	とてもよい	5	18.5	2	5.9	7	11.5
	まあまあ	9	33.3	16	47.1	25	41.0
	ふつう	8	29.6	13	38.2	21	34.4
	あまりよくない	1	3.7	5	14.7	6	9.8
	とてもよくない	0	0.0	2	5.9	2	3.3

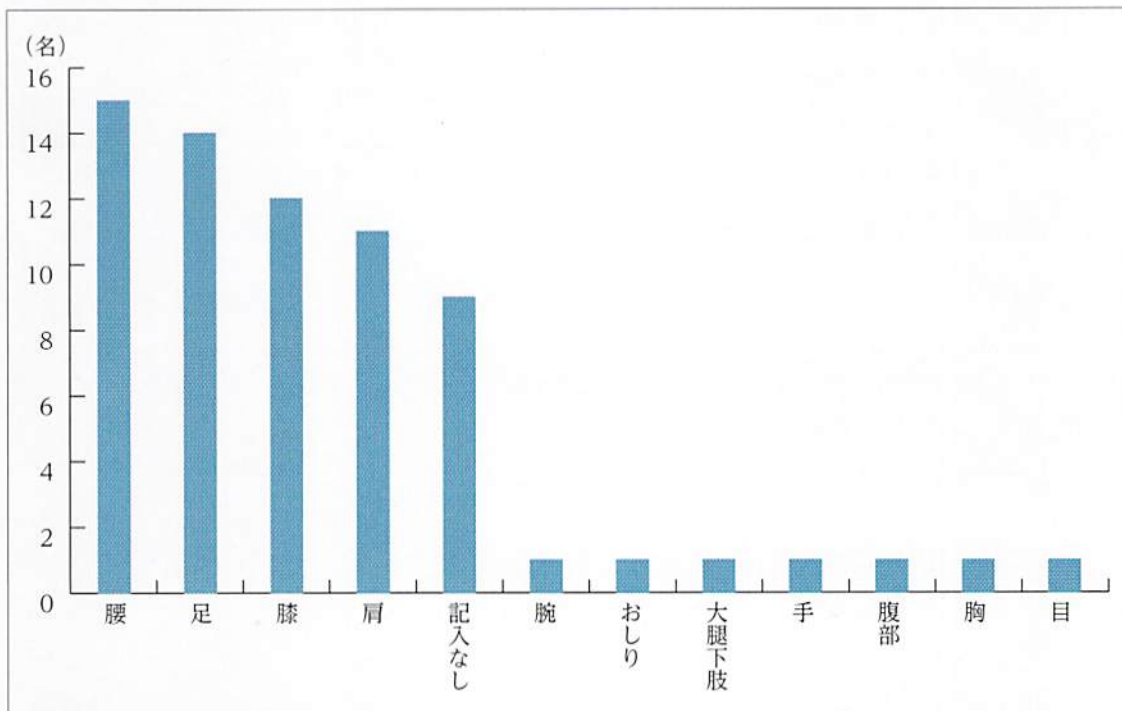
男女ともに65 - 74歳の方よりも75歳以上の方で「あまりよくない・とてもよくない」が多かった。

(5) 体の痛みの「あり」の状況

	男性			女性			計		
	全体数	実数	%	全体数	実数	%	全体数	実数	%
全体数	27	15	55.6	61	35	57.4	88	50	56.8
65 - 69 歳	7	4	57.1	7	3	42.9	14	7	50.0
70 - 74 歳	7	5	71.4	16	10	62.5	23	15	65.2
75 - 79 歳	8	4	50.0	15	8	53.3	23	12	52.2
80 - 84 歳	2	1	50.0	16	10	62.5	18	11	61.1
85 - 89 歳	2	1	50.0	6	3	50.0	8	4	50.0
90 歳以上	1	0	0.0	1	1	100	2	1	50.0

男性 55.6%、女性 57.4% が体の痛みがあると答えた。男女ともに 70-74 歳の方が最も多かった。

(痛みの部位)



「腰」 15 名、「足」 14 名、「膝」 13 名に痛みを多く感じていた。

## (6) 主要な症状について (複数回答可)

		男性		女性		計	
		実数	%	実数	%	実数	%
全体数		27	100.0	61	100.0	88	100.0
体	急にめまいがする	1	3.7	12	19.7	13	14.8
	急に数分間、胸がしめつけられる	0	0.0	6	9.8	6	6.8
	カゼでもないのに咳がよくでる	6	22.2	16	26.2	22	25.0
	便秘がひどい	3	11.1	17	27.9	20	22.7
	顔を洗うとき、中腰の姿勢が辛い	1	3.7	12	19.7	13	14.8
	尿もれが気になる	6	22.2	20	32.8	26	29.5
目・耳	眼鏡をかけても物が見えにくく、日常生活が不便	4	14.8	11	18.0	15	17.0
	耳の聞こえが悪く日常生活が不便	5	18.5	12	19.7	17	19.3
記憶・気力	最近、物忘れが多い	15	55.6	38	62.3	53	60.2
	今日が何月何日かわからない時がある	5	18.5	19	31.1	24	27.3
	よく眠れない	11	40.7	28	45.9	39	44.3
	頭がぼーっとすることがある	1	3.7	11	18.0	12	13.6
	食欲がなく、何を食べてもおいしくない	1	3.7	6	9.8	7	8.0

男女ともに「最近、物忘れが多い」(男性 55.6%、女性 62.3%)、「よく眠れない」(男性 40.7%、女性 45.9%)が多かった。

前期後期別（男性）

		65 - 74 歳		75 歳以上		計		
		実数	%	実数	%	実数	%	
男性	全体数	12	100.0	15	100.0	27	100.0	
	体のこと	急にめまいがする	1	8.3	0	0.0	1	3.7
		急に数分間、胸が締め付けられる	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		風邪でもないのにせきがよくでる	3	25.0	3	20.0	6	22.2
		便秘がひどい	1	8.3	2	13.3	3	11.1
		顔を洗うとき、中腰の姿勢が つらい	1	8.3	0	0.0	1	3.7
		尿もれが気になる	2	16.7	4	26.7	6	22.2
	目・耳	眼鏡をかけても物が見えにくく、日常生活に不便を感じている	2	16.7	2	13.3	4	14.8
		最近、耳の間こえがわるく日常生活に不便を感じている	3	25.0	2	13.3	5	18.5
	記憶力・気力	最近、物忘れが多い	4	33.3	11	73.3	15	55.6
		今日が何月何日かわからない時がある	3	25.0	2	13.3	5	18.5
		よく眠れない	6	50.0	5	33.3	11	40.7
		頭がぼーっとすることがある	0	0.0	1	6.7	1	3.7
		食欲がなく、何を食べてもおいしくない	1	8.3	0	0.0	1	3.7

「最近物忘れが多い」の項目は、64 - 74 歳以上で 33.3%、75 歳以上で 73.3%と大幅に多くなっていた

前期後期別（女性）

		65 - 74 歳		75 歳以上		計		
		実数	%	実数	%	実数	%	
女性	全体数	23	100.0	38	100.0	61	100.0	
	体のこと	急にめまいがする	4	14.8	8	23.5	12	19.7
		急に数分間、胸が締め付けられる	2	7.4	4	11.8	6	9.8
		風邪でもないのにせきがよくでる	5	18.5	11	32.4	16	26.2
		便秘がひどい	5	18.5	12	35.3	17	27.9
		顔を洗うとき、中腰の姿勢が つらい	3	11.1	9	26.5	12	19.7
		尿もれが気になる	3	11.1	17	50.0	20	32.8
		目・耳	眼鏡をかけても物が見えにくく、日常生活に不便を感じている	1	3.7	10	29.4	11
	最近、耳の間こえがわるく日常生活に不便を感じている		3	11.1	9	26.5	12	19.7
	記憶力・気力	最近、物忘れが多い	13	48.1	25	73.5	38	62.3
		今日が何月何日かわからない時がある	5	18.5	14	41.2	19	31.1
		よく眠れない	12	44.4	16	47.1	28	45.9
		頭がぼーっとすることがある	2	7.4	9	26.5	11	18.0
		食欲がなく、何を食べてもおいしくない	3	11.1	3	8.8	6	9.8

「食欲がなく、何を食べてもおいしくない」以外の項目は全て 65 - 74 歳よりも 75 歳以上で多くなっていた。

(7) 骨折・転倒の状況

	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	27	100.0	61	100.0	88	100.0
骨折したことがある	6	22.2	16	26.2	22	25.0
1年以内に骨折した	1	3.7	4	6.6	5	5.7
段差などにつまづくことがある	9	33.3	28	45.9	37	42.0

「段差などにつまづくことがある」では、男性 33.3%、女性 45.9%と多かった。

前期後期別

		65 - 74 歳		75 歳以上		計	
		実数	%	実数	%	実数	%
男性	全体数	12	100.0	15	100.0	27	100.0
	骨折したことがある	3	25.0	3	20.0	6	22.2
	1年以内に骨折した	1	8.3	0	0.0	1	3.7
	段差などにつまづくことがある	3	25.0	6	40.0	9	33.3
女性	全体数	27	100.0	34	100.0	61	100.0
	骨折したことがある	9	33.3	7	20.6	16	26.2
	1年以内に骨折した	3	11.1	1	2.9	4	6.6
	段差などにつまづくことがある	9	33.3	19	55.9	28	45.9

男女ともに「段差などにつまづくことがある」については、65 - 74 歳よりも 75 歳以上で多くなっていた。

(8) 趣味・楽しみの状況

	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	27	100.0	61	100.0	88	100.0
趣味や楽しみでやっていることがある	23	85.2	44	72.1	67	76.1

76.1%の方が、趣味や楽しみでやっていることがあると答えた。

前期後期別

		65 - 74 歳		75 歳以上		計	
		実数	%	実数	%	実数	%
趣味や楽しみでやっているものがある	全体数	37	100.0	51	100.0	88	100.0
	男性	11	29.7	12	23.5	23	26.1
	女性	19	51.4	25	49.0	44	50.0

男女ともに 65 - 74 歳よりも 75 歳以上のほうが減っていた。

## (9) 生活機能低下の状況

		男性		女性		計	
		実数	%	実数	%	実数	%
全体数		27	100.0	61	100.0	88	100.0
総合	バスや電車で1人で外出していますか：いいえ	2	7.4	8	13.1	10	11.4
	日用品の買い物をしていますか：いいえ	2	7.4	10	16.4	12	13.6
	預貯金の出し入れをしていますか：いいえ	6	22.2	13	21.3	19	21.6
	友人の家を訪ねていますか：いいえ	1	3.7	7	11.5	8	9.1
	家族や友人の相談に乗っていますか：いいえ	0	0.0	6	9.8	6	6.8
運動器機能低下	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか：いいえ	10	37.0	24	39.3	34	38.6
	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか：いいえ	2	7.4	21	34.4	23	26.1
	15分位続けて歩いていますか：いいえ	3	11.1	16	26.2	19	21.6
	この1年間に転んだことがありますか：はい	4	14.8	15	24.6	19	21.6
	転倒に対する不安は大きいですか：はい	7	25.9	37	60.7	44	50.0
改善養	6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか：はい	5	18.5	14	23.0	19	21.6
口腔機能の低下	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか：はい	5	18.5	25	41.0	30	34.1
	お茶、汁物等でむせることがありますか：はい	5	18.5	20	32.8	25	28.4
	口の渇きが気になりますか：はい	1	3.7	26	42.6	27	30.7
閉じこもり	週に1回以上は外出していますか：いいえ	2	7.4	9	14.8	11	12.5
	昨年と比べて外出の回数が減っていますか：はい	1	3.7	18	29.5	19	21.6



認知機能の低下傾向 (物忘れ)	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか：はい	3	11.1	12	19.7	15	17.0
	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか：いいえ	0	0.0	4	6.6	4	4.5
	今日が何月何日かわからない時がありますか：はい	5	18.5	19	31.1	24	27.3
気分の低下(うつ)	(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない：はい	5	18.5	15	24.6	20	22.7
	(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった：はい	3	11.1	8	13.1	11	12.5
	(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる：はい	3	11.1	17	27.9	20	22.7
	(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない：はい	7	25.9	11	18.0	18	20.5
	(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする：はい	2	7.4	13	21.3	15	17.0

二次予防事業対象者に該当する者

	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	27	100.0	61	100.0	88	100.0
運動器機能	2	7.4	19	31.1	21	23.9
栄養改善	0	0.0	2	3.3	2	2.3
口腔機能	1	3.7	20	32.8	21	23.9
閉じこもり	0	0.0	6	9.8	6	6.8
認知機能(物忘れ)	1	3.7	16	26.2	17	19.3
うつ	0	0.0	10	16.4	10	11.4

生活機能については、全体では、「運動器機能」と「口腔機能」の低下がともに23.9%と最も多かった。女性は、「口腔機能」(32.8%)と「運動器機能」の低下(31.1%)が多かったが、男性は、生活機能低下の該当者が少なかった。

前期後期別

		65 - 74 歳		75 歳以上		計	
		実数	%	実数	%	実数	%
男性	全体数	12	100.0	15	100.0	27	100.0
	運動器機能	0	0.0	2	13.3	2	7.4
	栄養改善	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	口腔機能	1	8.3	0	0.0	1	3.7
	閉じこもり	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	認知機能 (物忘れ)	0	0.0	1	6.7	1	3.7
	うつ	0	0.0	0	0.0	0	0.0
女性	全体数	27	100.0	34	100.0	61	100.0
	運動器機能	6	22.2	13	38.2	19	31.1
	栄養改善	1	3.7	1	2.9	2	3.3
	口腔機能	4	14.8	16	47.1	20	32.8
	閉じこもり	1	3.7	5	14.7	6	9.8
	認知機能 (物忘れ)	4	14.8	12	35.3	16	26.2
	うつ	2	7.4	8	23.5	10	16.4

女性では、栄養改善以外の5項目で74歳以下よりも75歳以上のほうが多かった。

(10) 体や日常生活で困っている

	男性			女性			計		
	全体数	実数	%	全体数	実数	%	全体数	実数	%
全体数	27	5	18.5	61	18	29.5	88	23	26.1
65 - 69 歳	7	2	28.6	7	1	14.3	14	3	21.4
70 - 74 歳	7	0	0.0	16	4	25.0	23	4	17.4
75 - 79 歳	8	1	12.5	15	5	33.3	23	6	26.1
80 - 84 歳	2	1	50.0	16	6	37.5	18	7	38.9
85 - 89 歳	2	1	50.0	6	2	33.3	8	3	37.5
90 歳以上	1	0	0.0	1	0	0.0	2	0	0.0

男性 18.5%、女性 29.5%が体や日常のことで困っていると答えた。体や日常生活で困っている内容については、体の痛みによるものが10名、病気に関することが4名であった。

<困っている内容>

- 病気が心配。
- 耳が悪い。
- 物忘れがひどくて困る。
- 脳卒中で手が不自由。

- ・腹部。
- ・腰痛で夜中3～4回必ず起きる。
- ・足膝が悪くて正座できない。
- ・背が低く高い所に手が届かない。
- ・間食をしてしまうので体重増加が気になる。
- ・交通（移動）が不便。
- ・寒い日には、肩・腕が痛むことがある。
- ・目が悪いので外出が少なく、運動が出来ない。
- ・老老介護で夜中に起きるのが辛い。

(11) 農作業の実施ありの状況

	男性			女性			計		
	全体数	農作業あり		全体数	農作業あり		全体数	農作業あり	
		実数	%		実数	%		実数	%
全体数	27	26	96.3	61	54	88.5	88	80	90.9
65 - 69 歳	7	7	100.0	7	5	71.4	14	12	85.7
70 - 74 歳	7	6	85.7	16	14	87.5	23	20	87.0
75 - 79 歳	8	8	100.0	15	14	93.3	23	22	95.7
80 - 84 歳	2	2	100.0	16	16	100.0	18	18	100.0
85 - 89 歳	2	2	100.0	6	4	66.7	8	6	75.0
90 歳以上	1	1	100.0	1	1	100.0	2	2	100.0

男性は96.3%、女性は88.5%の方が農作業を行っていた。

(12) 農作業の内容（複数回答可）

	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	26	100.0	54	100.0	80	100.0
稲作	10	38.5	12	22.2	22	27.5
果樹	1	3.8	1	1.9	2	2.5
そ菜	1	3.8	2	3.7	3	3.8
花	0	0.0	1	1.9	1	1.3
自家菜園	18	69.2	48	88.9	66	82.5
その他農作業	6	23.1	8	14.8	14	17.5

自家菜園が男性69.2%、女性88.9%と最も多かった。

## (13) 農作業時間

	65-69 歳	70-74 歳	75-79 歳	80-84 歳	85-89 歳	90歳 以上	合計	
							実数	%
1～4時間	9	10	14	14	6	2	55	75.3
5～7時間	2	3	2	3	0	0	10	13.7
8時間以上	0	4	3	1	0	0	8	11.0
合計	11	17	19	18	6	2	73	100.0

全年代ともに1日の農作業時間は1～4時間が最も多かった。

## 前期後期別

農作業時間		1～4時間		5～7時間		8時間以上		合計	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
男性	全体数	16	69.6	2	8.7	5	21.7	23	100.0
	65-74歳	7	63.6	1	9.1	3	27.3	11	100.0
	75歳以上	9	75.0	1	8.3	2	16.7	12	100.0
女性	全体数	39	78.0	8	16.0	3	6.0	50	100.0
	65-74歳	12	70.6	4	23.5	1	5.9	17	100.0
	75歳以上	27	81.8	4	12.1	2	6.1	33	100.0

男女ともに65歳-74歳よりも75歳以上のほうが1～4時間が多かった。

## (14) 農作業機械の使用状況

	男性			女性			計		
	農作業 あり	機械使用あり		農作業 あり	機械使用あり		全体数	機械使用あり	
		実数	%		実数	%		実数	%
全体数	26	18	69.2	54	8	14.8	80	26	32.5
65-69歳	7	5	71.4	5	2	40.0	12	7	58.3
70-74歳	6	4	66.7	14	3	21.4	20	7	35.0
75-79歳	8	5	62.5	14	0	0.0	22	5	22.7
80-84歳	2	2	100.0	16	2	12.5	18	4	22.2
85-89歳	2	1	50.0	4	1	25.0	6	2	33.3
90歳以上	1	1	100.0	1	0	0.0	2	1	50.0

男性は69.2%が、女性は14.8%の方が農作業機械の使用をしていた。女性では、70歳以上の使用が減っていた。